

お知らせ

平成 30 年 12 月 27 日

< 同時資料提供先 >

合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会
岡山県政記者クラブ・広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ
山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

冬期の円滑な道路交通の確保の取り組みについて

中国地方では、平成 29 年 1 月、2 月の記録的な大雪により、鳥取県内の幹線道路において、車両の立ち往生や除雪作業のため、長時間の通行止めが発生しました。

これを踏まえ、中国地方整備局は、除雪作業の体制、立ち往生車両への対応、道路利用者への情報提供など、今年度も引き続き、取り組みを関係機関と連携し、冬期の円滑な道路交通の確保に努めます。

※取り組み内容の詳細は別紙のとおり

※道路利用者の皆様へは、お出かけ前の冬期道路情報の確認や冬用タイヤ装着等についてご理解とご協力をお願いいたします。

○問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 TEL 082-221-9231 (代表)

082-511-6331 (ダイヤルイン)

道路部	道路管理課長	かだ あつみ 加田 厚	(内線4411)
(担当)	道路管理課 課長補佐	せいけ たかゆき 清家 貴之	(内線4412)

(広報担当窓口)	広報広聴対策官	いわした やすひさ 岩下 恭久	(内線2117)
企画部	環境調整官	いのうえ かずひさ 井上 和久	(内線3114)

取組1. 早期通行止めの実施及び集中除雪による道路交通の確保

国土交通省では、冬期道路交通確保対策検討委員会でとりまとめられた、「大雪時の道路交通確保対策の提言 中間取りまとめ」に基づき、「道路ネットワーク機能への影響を最小化」するため、除雪体制の強化や集中除雪、大雪時の需要抑制の呼びかけ等の取り組みを進めているところです。

①早期に通行止めを行い、集中除雪により迅速な交通確保に努めます

- 過去の立ち往生車両の発生箇所や、発生する可能性の高い峠部等の勾配の急な区間などを「除雪優先区間」に設定し、降雪の際はカメラ等により重点的に監視を行います。
- 「除雪優先区間」は、**昨冬までの降雪や立ち往生の発生状況を基に、範囲や転回場所の見直し**を行いました。
- また、**区間内にカメラを増設し、監視体制を強化**します。
- 大型車の立ち往生や立ち往生が多発するなど、交通が途絶する恐れがある場合は、警察と連携し、早い段階で通行止めを行い、**集中的・効率的な除雪作業**を実施することにより、迅速に交通を確保するよう努めます。
- 通行止めの解除にあたっては、警察と連携し、冬用タイヤ装着規制を実施するなど、再度の立ち往生の防止に努めます。
- 緊急車両の通行を確保する必要がある場合には、災害対策基本法に基づく道路の区間を指定し、道路管理者自らが立ち往生車両の移動措置等を迅速に行います。

見直し

強化

平成29年1月 鳥取自動車道での雪害対応



除雪作業状況



除雪車による牽引状況

②今冬のチェーン規制は、米子道、浜田道、国道54号で行います

新規

- 大雪時の道路交通確保に向けたチェーン規制の実施について、
 - 時期：大雪特別警報や大雪に対する緊急発表が行われるような異例の降雪時※
 - ※【全国】平成29年度は、大雪特別警報の発令はなく、大雪に対する緊急発表は3回。
 - 場所：勾配の大きい峠部でこれまでに大規模な立ち往生などが発生した区間

を対象として、従来であれば通行止めとなる状況においてタイヤチェーン装着車のみ通行を可能とするものですが、警察との調整が完了したチェーン規制区間は以下のとおりとなります。

<区間>

○E73 米子道：湯原IC～江府IC（延長 L=33.3km）

○E74 浜田道：大朝IC～旭IC（延長 L=26.6km）

○国道54号赤名峠：広島県三次市布野町横谷～
島根県飯石郡飯南町上赤名（延長 L=2.5km）

- 峠部などの過去に立ち往生や雪による通行止めが発生する区間でチェーン脱着場所や待機場所などの所要の施設状況等を踏まえ選定しています。今冬のチェーン規制は、米子道、浜田道、国道54号で行います。



国道54号飯南町上赤名(平成26年12月5日14時頃)

○大雪に関する過去の通行止め事例について（参考）

場所：一般国道54号（広島県三次市布野町下布野～島根県飯南町上赤名）

発生日時：平成26年12月5日～6日 中国地方の山間部を中心に積雪を観測
⇒飯南町赤名の積雪量は最大54cmを観測（12/6_9:00）

通行止め時間：16時間30分

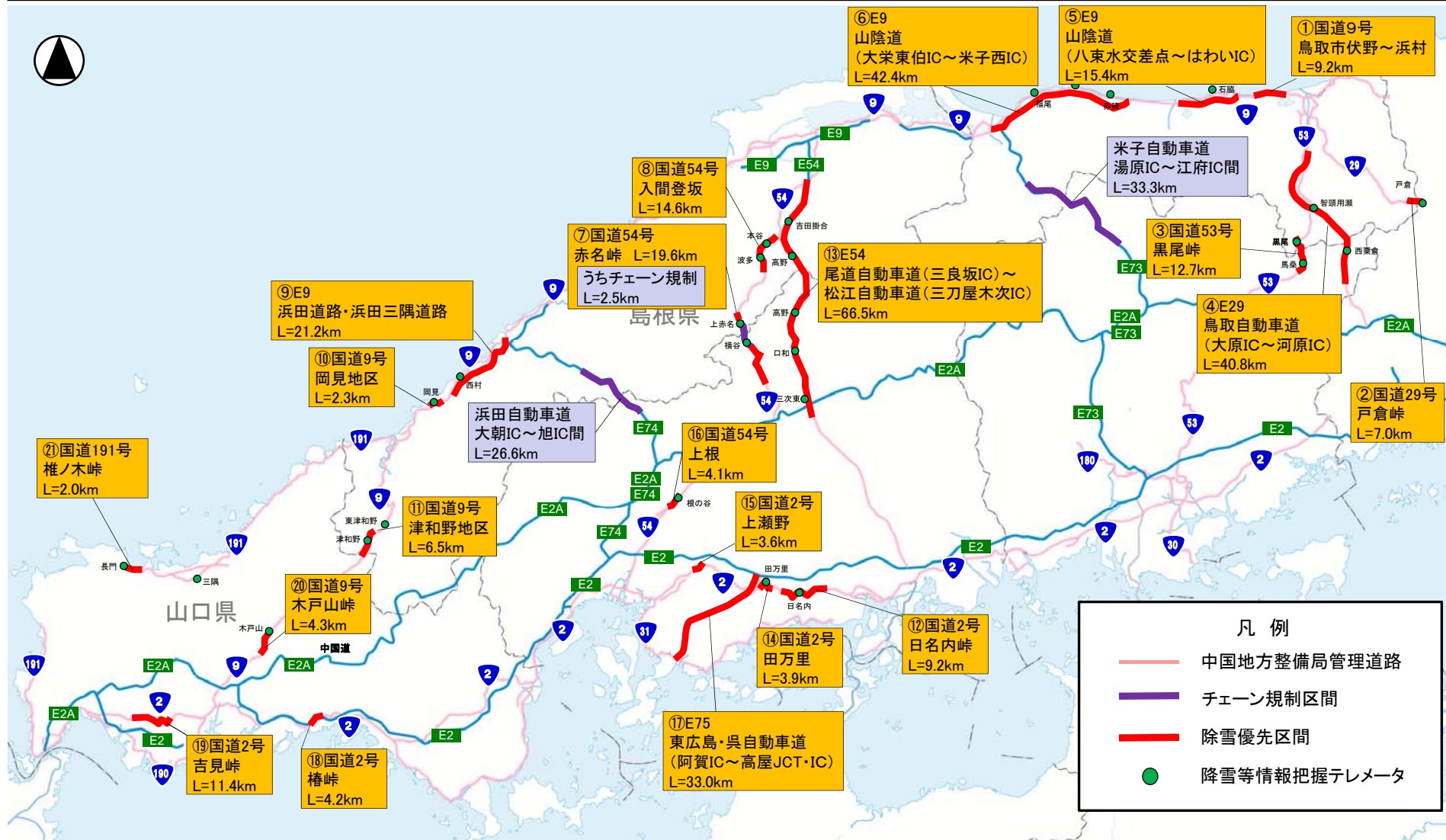
滞留台数：広島・島根両県境約60台

平成30年度 除雪優先区間及びチェーン規制実施箇所



○中国地方整備局が管理している道路においては、大型車等の立ち往生車両が発生する恐れが高い21区間を「除雪優先区間」に指定し、**予防的な通行規制による集中除雪を実施**。その内、**チェーン規制区間（1区間）**を設定。

○NEXCO西日本が管理している高速道路においては、**チェーン規制区間（2区間）**を設定。



中国地方整備局「除雪優先区間」一覧表

H29.11作成

番号	県	路線	箇所名・区間	延長(km)
①	鳥取県	9	鳥取市伏野～浜村	9.2
②	兵庫県 鳥取県	29	戸倉峠 宍粟市波賀町赤西～八頭郡若桜町小船	7.0
③	岡山県 鳥取県	53	黒尾峠 勝田郡奈義町関本～八頭郡智頭町野原	12.7
④	岡山県 鳥取県	E29	鳥取自動車道(大原IC～河原IC)	40.8
⑤	鳥取県	E9	山陰道(八束水交差点～はわいIC)	15.4
⑥	鳥取県	E9	山陰道(大栄東伯IC～米子西IC)	42.4
⑦	広島県 島根県	54	赤名峠 三次市布野町下布野～飯石郡飯南町下赤名	19.6
⑧	島根県	54	入間登坂 飯石郡飯南町花栗～雲南市掛合町掛合平岩	14.6
⑨	島根県	E9	浜田道路・浜田三隅道路	21.2
⑩	島根県	9	岡見地区 浜田市三隅町向野田～岡見	2.3
⑪	島根県 山口県	9	津和野地区 鹿足郡津和野町耕田～山口市阿東徳佐上	6.5
⑫	広島県	2	日名内峠 三原市南方～竹原市新庄町	9.2
⑬	広島県 島根県	E54	尾道自動車道(三良坂IC)～松江自動車道(三刀屋木次IC)	66.5
⑭	広島県	2	田万里 竹原市田万里町～東広島市西条町上三永	3.9
⑮	広島県	2	上瀬野 東広島市志和町～広島市安芸区上瀬野	3.6
⑯	広島県	54	上根 広島市安佐北区大林町～安芸高田市八千代町上根	4.1
⑰	広島県	E75	東広島・呉自動車道(阿賀IC～高屋JCT・IC)	33.0
⑱	山口県	2	椿峠 周南市戸田～防府市富海	4.2
⑲	山口県	2	吉見峠 宇部市瓜生野～山陽小野田市郡	11.4
⑳	山口県	9	木戸山峠 山口市宮野上	4.3
㉑	山口県	191	椎ノ木峠 長門市日置上～長門市西深川	2.0

○チェーン規制区間一覧表

H30.12.27作成

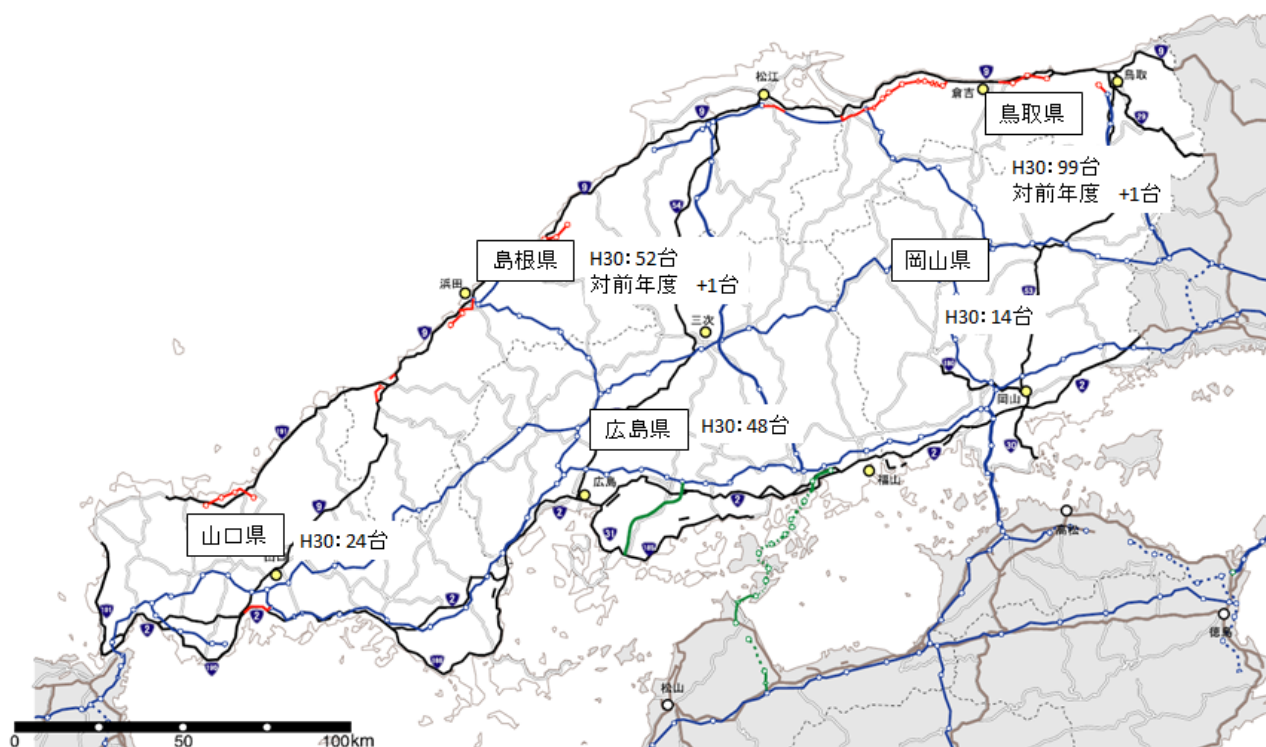
都道府県	路線番号	道路名	区間	延長(km)	道路管理者
岡山県 鳥取県	E73	米子道	湯原IC～江府IC	33.3	NEXCO西日本
広島県 島根県	E74	浜田道	大朝IC～旭IC	26.6	NEXCO西日本
広島県 島根県	国道54号	赤名峠	広島県三次市布野町横谷～ 島根県飯石郡飯南町上赤名	2.5	中国地方整備局

取組2. 除雪・雪害対応の強化

① 状況に応じて除雪機械を適切に配置し、除雪作業を実施します

- 中国地方整備局では近年の大雪や山陰道の供用に向けて、除雪体制の強化を図るため、**島根県に凍結防止剤散布車1台及び鳥取県にロータリー除雪車を1台増強**しました。
- 状況に応じて、災害協定業者の協力や、他の地方整備局等へ広域的な支援要請を行い、除雪作業を実施します。

強化



除雪トラック



除雪グレーダ



凍結防止剤散布車



ロータリー除雪車

② 除雪機械へGPS、無線機を配備し、的確な除雪を行います

- 除雪機械の進行方向まで判る新たなGPS車載器と無線機を配備することで、各除雪機械の位置をより正確に把握し、的確な除雪オペレーションを行います。

強化

<GPS、無線機活用のイメージ>



位置情報画面イメージ

③ 立ち往生車両を迅速に排除します

- 立ち往生が発生する可能性の高い箇所には、牽引用車両を事前に配置し、早期に対応できるように備えます。
- 立ち往生車両が発生した場合、車両の排除に時間を要し、除雪作業に遅れが生じたことから、過去に立ち往生が発生した箇所の近くに立ち往生車両の待避所や大型車が転回できる転回場を整備し、迅速に車両排除します。

継続



牽引用車両の配置
(鳥取自動車道 福原PA)



待避所の整備
(鳥取自動車道)



転回場の拡張整備
(鳥取自動車道 坂根交差点)

④災害協定業者等を活用し、資機材・人員を確保します

- 地域の建設業者等と災害応急対策協定を結び、雪害発生時の機械、資材、人員を確保しています。

＜協定業者による支援＞
(H29年1月 鳥取市内)



歩道の啓開除雪支援

⑤訓練を実施し対応能力の向上を図ります

- 図上訓練や情報伝達訓練により、関係機関との連携や、通行止め等、雪害発生時の対応手順等を確認しています。
- 立ち往生車両が発生した場合、車両移動がスムーズにできるように、災害対策基本法に基づく車両移動の実働訓練を実施しています。

～車両移動等の実働能力の向上に向けた訓練～



除雪機械による牽引



車両移動用機械設置



人力による車両移動



バックホウによる吊り上げ

取組3. 関係機関との連携強化

- 通行止めを実施する時は、警察や並行する道路管理者等と情報を共有し、通行止め区間やタイミングについて調整を図り、道路の円滑な運用に努めます。

- H30年度は、冬期の確実な通行確保に必要な綿密な情報交換等関係機関の連携強化を図るため、地域単位で「情報連絡本部」を設置し、情報の一元化に努めます。

強化

- 鳥取県においては、平成29年1月と2月の豪雪による交通障害の検証と対策を議論するため、交通確保対策会議※をH29年度より発足しており、引き続き、関係機関と合意した対策を実施します。

※会議の詳細は、鳥取河川国道事務所ホームページで公表しています。

http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/road/touki_taisaku/index.html

取組4. 道路利用者に対する情報提供の充実

大雪が予想される2～3日前より通行止め実施の可能性がある旨について事前広報を行い、不要不急の外出を控えることや広域迂回、並びに物流車両の運行計画の見直しなどについて、地域住民や道路利用者に周知してまいります。

① 冬用タイヤ・チェーン等の装備を呼びかけます

- 早めに冬用タイヤ装着やチェーン準備等の雪道支度をするよう一層の啓発を図ります。
- 本格的な降雪期を迎える前から、冬用タイヤ装着指導を実施し、道路利用者へ冬用タイヤ装着の協力をお願いします。
- 各県新聞広報、ラジオ、チラシやポスター、道路情報板などを活用するとともに、除雪機械の出発式等のイベントを実施し、周知・啓発活動を実施しています。

～ 冬装備の呼びかけ 実施例 ～

■チラシ



■新聞広報

冬用タイヤの装着はお済みですか？

冬用タイヤの装着・チェーンの携行を忘れずに！

(スノータイヤ、スタッドレスタイヤ)
中国山地など雪道のノーマルタイヤでの走行は、事故や立ち往生を起こす原因となります。出発の際は積っていたのに、山は大雪、車が前に進めない...という事も、珍しくありません。

滑り止めの措置は運転者の遵守事項として罰則が設けられています。

① 最悪およびは最悪の道路状況下での走行は、罰則は未定であるが、道路状況により罰則を課せられる。② 最悪にタイヤチェーンを取り付ける。または、③ 最悪にスノータイヤやスタッドレスタイヤを装着することによって、罰則を課せられる可能性がある。罰則を課していない場合は、罰則の対象とならない。

④ 「ホームページ」で冬期道路情報を提供しています。道路に設置しているカメラからの映像や、気象・気象庁からの気象情報など、リアルタイムの道路情報を提供しています。道路情報は、スマートフォン、携帯電話からご覧いただけます。

**冬期道路情報
トップページ**

#9910 24時間無料受付

■啓発活動



冬用タイヤ装着・安全の呼びかけ状況



道路情報板表示



ドライバーへのチラシ(冬用タイヤ装着)配付状況



冬用タイヤ装着確認状況

②通行止め状況、ライブカメラ画像の提供などの情報提供を実施します

- 道路情報板や記者発表等を活用して道路状況や通行止、迂回路等の道路情報を発信します。
- ホームページでは、道路画像や気象情報等の提供を行っています。

～情報提供の事例～

■ホームページ(冬の道路情報)



左)冬期お役立ち情報(中国地整)

<http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/doyroj/its/PAGE2/index.html>

右)中国地方整備局道路情報提供システム

<http://www.cgr.mlit.go.jp/road/>

■ライブカメラ画像



PC用 http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/doyroj/its/real/fr_real4.html

スマートフォン用 <http://www.road.cgr.mlit.go.jp/smart/livecam.html>

③ 広域的な通行止め情報を提供します

- 利用者が迂回行動をとれるように、近畿地方整備局、NEXCO西日本、各県と連携し、道路情報板等により**広域的な通行止め情報を提供**します。

継続

＜鳥取市周辺が大雪となった場合の広域迂回ルート＞
中国縦貫自動車道を利用し、広域ルートで鳥取市方面へ移動可能な路線に通行止め情報を提供



④ 気象台と連携した気象情報提供を実施します

- 記録的な降雪となる可能性がある場合に、気象台と連携して大雪等に対する情報提供を行います。

大雪に関する道路利用者への呼びかけ 平成30年2月11日 発表

別紙-1

【道路利用者への呼びかけ】

- 中国地方では**11日夜～13日昼頃**にかけて、**山陰や山陽北部を中心に大雪**となるおそれがあります。
- また、**山陽の平地でも積雪**となる所がありますので注意して下さい。
- **不要不急の外出は控える**とともに、やむを得ず車を運転する場合には、**冬用タイヤの装着又はタイヤチェーンの携行**をお願いします。
- タイヤチェーンの装着はチェーン着脱場等の安全な場所で行って下さい。
- お出かけの際には**時間には余裕を持って行動して頂くよう心がけてください**。
- 雪による見通しの悪化、**積雪・路面の凍結**が発生するおそれがありますので注意してください。

【1. 今後の気象の見通し】

平成30年2月16日にかけての気象状況

【警報級の可能性（大雪）】					
	12日(木)	13日(金)	14日(土)	15日(日)	16日(月)
地名	夕方まで、夜～明け方	朝～夜遅く			
	06-18	18-06	06-24		
鳥取			中	高	中
島根			中	高	中
岡山			中	高	中
広島				高	中
山口				高	中

※イメージ

【気象概況】
○13日～16日頃にかけて強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まる見込み。14日から15日を中心に山陰や山陽北部で大雪のおそれ。
○山陽南部の平地でも積雪となる所がある。
○雪を伴った強い風が吹くため、視程障害などにも注意。
【各市町村での注意警戒時間】
(危険度が高まる時間帯を色分けして表示)
<https://www.jm.a.go.jp/jp/warn/>

【2. 過去の「予想天気図」から「警報級の可能性(大雪)」へ変更

＜大雪のため、大規模な立ち往生が発生＞

- 平成29年1月23日から24日にかけて発達した雪雲が山陰地方を中心に次々と流れ込み、特に鳥取県智頭町では23日の日降雪量が70センチを記録し、観測史上1位となった。
- 鳥取自動車道で大規模な立ち往生が発生した。
- 車両の移動および通行止め解除に約2日を要した。

【気象概況】
○平成29年1月23日から、中国地方の上空約5500メートルに氷点下36度以下の強い寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となった。
○このため、中国地方では、日本海側を中心に大雪となった。

立ち往生が発生

鳥取自動車道での立ち往生発生状況 平成29年1月25日(水)

変更